



2023.01 vol.34

# 協力隊通信

武田 親祐



昨年8月に地域おこし協力隊に着任した武田親祐しんすけです。農業に関する初の地域おこし協力隊ということで、記事を通して体験談や農業の楽しさを伝えていければと思っています。

## ◆飯豊町の温かさ

就任時の8月は、まさに草との戦いでした。伸びるのが早いか刈るのが早いか。慣れない草刈り機での作業や、長靴がびしょ濡れるような暑さ。そんな中、「熱中症になるから休み休みやれよ〜」「仕事大変だべ。慣れたか?」「暑いからお茶でも飲んでけえ」「うちで採れたスイカ食べるか?」などたくさん声を掛けてもらいました。

いくつかの地区に作業する田んぼがあり、どの場所でも同様でした。今までにない豪雨災害直後にもかかわらず、みなさんの温かさ、ひたむきな強さを感じました。飯豊町の「人情」を感じられるともうれしい出来事でした。

作業は初めの内は必死で何も見えませんが、少し慣れてくるとさまざまなものが見えてきます。

草を刈りながら、ふと後ろを振り返りきれいななつた畦畔けいはんを見ると、「よし!」という気分になります。草刈りしたことある方は共感してくれますよね?

稲の成長、町の風景、田んぼの生き物、かんかん照りの青空。すべての体験が新鮮です。



## ◆トマト栽培の研修や畑作にも挑戦

浜辺農園さんでトマトの収穫や栽培技術などの研修をさせていただきました。愛情たっぷり無農薬栽培のトマトの味は別格! ハウスの中ではさまざまな生き物も共生しており、無農薬ならではの一面も見ることができました。

また、畑を借りて野菜の栽培も行っています。枝豆、黒豆、大根、白菜、キャベツ、玉ねぎ、にんにく、さつまいもなどを栽培しています。初めての栽培のため、土づくりの難しさや害虫被害対策の大変さを痛感しています。試行錯誤して育てた採れたての野菜は、何よりのご馳走です。

まだまだ土に合う野菜探しや、販売まで含めた計画の立案など課題が多いので、年々改善していきたいと思っています。



## ◆農家の冬場の仕事

ハウス栽培や雪かき、出稼ぎなど農閑期にはさまざまな方法で収入を確保する必要があります。自分だけではなく地域として冬場の仕事は課題だと考えています。町内で研修先を探していたところ、中地区にある若乃井酒造さんが快く受け入れてくださいました。本当にありがとうございます。

町内の酒蔵で酒造りの仕事ができるというのは、なかなかない機会なので、しっかり学びたいと思っています。酒蔵の中は準備の段階から時々日本酒のいい香りが漂い、原稿を書いている11月末には仕込みが始まっています。今からでき上がりがとても楽しみです。いずれは酒米から日本酒までを町で一貫して作ることができれば最高だなと夢を描いています。

若乃井酒造では酒蔵の隣に直売店をオープンしており、ここでしか購入できない酒粕プリンや漬物、雪室で6年間貯蔵した古酒など魅力的な商品がそろっています。

知らなかった方、まだ訪れたことがない方はこの機会に是非。プリンおいしいですよ!

